

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	わくわくクラブあすなる		
○保護者評価実施期間	2025年3月25日		～ 2025年4月23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数) 1名
○従業者評価実施期間	2025年3月25日		～ 2025年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年4月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども達が楽しみに通っている	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達ひとり一人の好きなことや発達段階に合わせた遊びや活動を提供している。 子どもたちの自己決定と自己選択を尊重した関りを重視している。 	<ul style="list-style-type: none"> あすなる目安箱を設置し、子どもたちのやりたいことをキャッチできる体制を整えている。 定期的にこども会議を開催し、自分たちで物事を決めて実行していけるように取り組んでいる。
2	施設的环境が整っている	<ul style="list-style-type: none"> 事業所が嘉手納町総合福祉センター内にあるため、活動の際にセンターの大集会室を借用している。 事業所のスペースが広いので、子ども達がのびのびと過ごせるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 中庭を整備することで、室内では出来なかったスポーツやその他の活動を充実させていく。
3	近隣の事業所との連携や地域交流を積極的に行っている	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉協議会が運営しており、その関係機関や地域の方々との交流がしやすい。 嘉手納町内で放デイ連絡会を開催し、定期的に会議を持ち、イベント企画や情報共有を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も放デイ連絡会と連携して、研修やイベントの企画、避難訓練等、事業所の質を上げる取り組みをしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 個別での訓練が必要な児童への取り組みが不十分なことがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員の人数が不十分であった。 職員のスキルが不十分であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員体制を見直し、個別対応をとりやすい人員配置にしています。 支援の質向上のため、内外の研修を積極的に受講、または、事業所内でのケース検討を深めています。
2	<ul style="list-style-type: none"> 個別→小集団→集団といった自立にむけてのステップアップを計画的かつスムーズに行えなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別対応が必要な児童への小集団への移行について、チームで計画を立てての取り組みが不十分であった。 自由遊びを中心にスケジュールを立てているため、事業所が設定する活動が不足していた。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの発達段階や年齢に合わせて、次のステップに向かうために必要な事項を、チーム内で共通認識を持ち支援にあたっていく。そのために、個別支援会議やケース会議などの活用に職員に参画を促しながら、チーム全体で支援を考えていく体制を整えます。
3	<ul style="list-style-type: none"> 中高生の就労へむけた活動プログラムが充実していなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 就労事業の知識や関係機関との連携が不足していた。 	<ul style="list-style-type: none"> 放デイを卒業した後の生活の仕方や就労移行について、学びの場を設けます。 自立支援協議会等と連携し、地域の就労事業所との交流を深めていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 わくわくクラブあすなろ

公表日 2025年5月8日

利用児童数 2025年3月31日 1名

回収数 1名

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1					事業所自体も広く、子ども達がのびのびと過ごせる環境を整えています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	1					基準以上の人員配置を行っています。また、令和7年度は人員を増やしてまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1					・段差等が少なくバリアフリー化を進めています。 ・静と動のスペースを分けるなどして工夫しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1					清潔を保ち、子ども達が心地よく過ごせるよう、適宜環境を整えています。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1					今後も、個人に合わせた支援を提供してまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1					しっかりと子ども達のことを理解し、計画に反映させてまいります。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1					適切な項目で計画を作成しています。今後も、個人にあわせたオーダーメイドの支援計画を作成してまいります。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1					定期的にモニタリングを行い、支援の内容について評価し、改善しています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1					子ども達からの活動のアイデアや地域の方との繋がりで様々な活動を実施しています。
11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1					児童館や公園での交流が多くあります。時には、地域の児童を事業所に招いて活動を共にすることもあります。	
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					丁寧な説明をしております。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					計画案を作成し、保護者の方の同意を得ながら計画を実施しております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1					6年度はペアレントトレーニングの開催は出来ませんでした。今後は、開催の検討をしていきたいと思います。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	1					送迎時の引継ぎやLINEにて詳細に情報を共有しています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1					定期的に面談を行い、相談援助を行っています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1					今後も共感の姿勢で支援に臨んでまいります。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1					6年度は山登りイベントなどを実施しました。今後は、交流の幅を広げられるような企画をしていきたいと思います。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1					要望等があれば迅速に対応いたしますので、ご連絡宜しくお願い致します。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1					子ども達に対しては、発達段階に沿った形でイラストや文字で示しています。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	1					毎月あすなろだよりを発行し、活動の様子や行事予定について発信をしています。また、日々の様子もLINEにて詳細に伝えるようにしています。今後は、SNSを活用してあすなろの支援を発信していきたいと思います。

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1					鍵付きの書庫にて個人情報を管理しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1					定期的に訓練は行っています。ですが、マニュアルの内容までにご家族への周知は出来ていないので、事業所での対応についてお知らせしていけたらと思います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1					定期的に避難訓練を実施し、複数の災害を想定して訓練を行っています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1					送迎時や事故等を想定したマニュアルは策定しています。今後は、安全管理について想定を広げた計画を作成し、安全管理の精度を上げていきたいと思っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1					事故やケガが発生した際には、迅速に保護者の皆様に状況説明をするよう留意しています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	1					本人・ご家族が安心してあすなろを利用できるようにこれからも尽力してまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	1					子ども達が楽しく成長できるよう、今後も職員一同工夫を凝らして支援してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	1					今後も、期待に応えられるよう善処してまいります。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	わくわくクラブあすなろ				公表日	年 月 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		・比較的大いスペースを確保して密にならないように活動しています。		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		・基準以上の人員配置を行っています。	・さらなるニーズに応えるために、令和7年度より職員数を増やしていきます。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		・段差等が少なくバリアフリー化を進めています。 ・静と動のスペースを分けるなどして工夫しています。	・利用児童に合わせて、今後も環境設定をバージョンアップしてまいります。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		・スムーズに利用できるように動線を意識した空間を整えています。 ・静と動のスペースを分けるなどして工夫しています。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		・落ち着きたいときには、個室に入れるようにしています。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		・日々のミーティングや支援会議などを活用し、職員が広く支援に参画できるよう工夫しています。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・毎年保護者の皆様にアンケート調査を実施しています。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・日々のミーティングや管理者との個別面談を通して、職員の意見を把握する機会を持ち業務改善に繋げています。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	・第三者による外部評価は行っていません。	・外部評価について、より良い方法がないか検討をしていきたいと思っています。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・毎年、ティーチャートレーニングや虐待防止研修などを実施しています。 ・外部研修についても、職員を派遣できるようにしています。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		・支援プログラムの公表は嘉手納町社会福祉協議会のHPに掲載しております。		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		・こどもや保護者のニーズを受けて、目標設定を行っています。		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		・日々のミーティングや会議などで、職員と意見交換をし、子どもたちの最善の利益について検討しています。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		・日々のミーティングを用いて計画を確認し、活動に取り入れています。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	3	・標準化されたアセスメントツール(ヴァインランドなど)は使用していませんが、えいぶるノートなどを活用して、子どもたちの状態をアセスメントしています。	・今後もより良いアセスメントが行えるように、改善してまいります。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		・ガイドラインに沿って、個別支援計画を作成しております。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		・チームで活動の立案を行ったり、子どもたちの意見を取り入れながら活動を決めています。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・固定化しているプログラムもありますが、常に新しい活動を考えたり、職員と子ども達から意見を出してもらうなどしてマンネリ化しないように工夫しています。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		・子どもたちの発達段階や興味関心に合わせて、活動を考えられています。	・個別から集団への移行については、難しいケースもあったので、チームで検討していきたい。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		支援開始前のミーティングと支援終了後の振り返りミーティングを実施しています。	・より良い支援のために、打ち合わせの方法や役割分担などを今後も改善しながら取り組んでいきます。	
21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		支援開始前のミーティングと支援終了後の振り返りミーティングを実施しています。	・より良い支援のために、打ち合わせの方法や役割分担などを今後も改善しながら取り組んでいきます。		
22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		・毎日支援内容を記録し、保護者の皆様へもLINEを活用してお伝えしています。 ・定期的にモニタリング会議を行い、日々の記録を参照し、評価を行っています。			
23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		・定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っています。			
24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		・自発管、児童指導員が参加しており、児童との関りが深いものが参加するようにしています。	・今後は外部との会議に参加できる職員を増やしていきます。		

関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		嘉手納町の福祉課や嘉手納町放デイ連絡会との連携体制を整えています。	今後は、保育・教育との連携を推し進めていきたいと考えています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	1	適宜、情報共有を行っております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	2	今年度は直接連携をとることはなかった。相談員との連携はしています。	・移行支援が必要なケースが出てきたときには、積極的に連携していきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			適宜、情報共有を行っております。	
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	3	地域にセンターがないため、センターからの助言や研修を受ける機会はありませんでした。	スーパーバイズを外部の方にお願ひしており、助言や研修の機会は確保しております。
	32	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	4		地域の児童館を利用したり、地域の児童を招くなどして交流する機会は多くありました。	
保護者への説明等	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4		日々の情報共有や定期的に面談を行うことで、発達状況や課題について共通理解を持つようにはしています。	参加はしていないが、今後連携はしていく体制について話し合いを行っております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4			今年度はできていない。次年度から計画していきたいと考えています。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時に担当者から説明を行っております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		ご家族や本人の気持ちや意向を汲めるよう、定期的に面談をしたり、やってみたいことを本人達から引き出す取り組みをしています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		支援計画の説明をして同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		定期的に面談を行い、相談援助を行っております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	1	令和6年度は親子山登りを開催して保護者やきょうだい同士の交流を図りました。	今後も保護者・きょうだい同士が交流できるイベントを企画していきたいと思ひます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		苦情窓口を設置しています。また、第三者委員による受付も行っております。	今後も保護者の皆様からの要望がありましたら、迅速に対応するよう心掛けてまいります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		毎月必ずなるだよりを発行し、活動の様子や行事予定について発信をしています。また、日々の様子もLINEにて詳細に伝えるようにはしています。	今後は、SNSを活用しあすなるの支援を発信していきたいと考えています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		鍵付きの書庫に個人情報を保管しています。	
非常時等の対応	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		子ども達に対しては、発達段階に沿った形でイラストや文字で示しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2	町内の事業所を招いての活動や地域の子ども達が遊びに来てくれるような環境にしています。	今後も地域の住民の皆様との交流を持っていきたいと考えています。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		マニュアルの策定し、避難訓練の実施を定期的に行っております。	マニュアルの内容まではご家族への周知は出来ていないので、事業所での対応についてお知らせしていけたらと思います。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		計画を策定し、法人全体での備えや避難訓練なども取り組んでいます。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		利用は始まる前に確認しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	3	現在はアレルギーを持った児童はいないので、特別な対応はしておりません。	今後、アレルギーを持つ児童の受け入れが始まった際には、医師の指示書に基づいた対応を取って行きます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	3	送迎時や事故等を想定したマニュアルは策定している。	今後は、安全管理について想定を広げた計画を作成し、安全管理の精度を上げていきたい。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	3	安全計画に基づく取組については、ご家族への周知は出来ていなかった。	今後、安全に関する取組について周知してまいります。
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		ヒヤリハット報告書を作成し、職員間で改善について話し合うようにはしています。		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		年に2回、虐待防止に関する研修を開催し、日ごろの支援について振り返りを行っております。		

53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	契約時に身体拘束を行う状況について、ご家族に説明をしています。実際に身体拘束を行う場合には事前に通告し、計画的に行う体制を整えています。	現在は身体拘束を行う場面はないのですが、拘束が必要としない環境を作っていくことに善処したいと考えております。
----	--	---	--	--